取材のお願い

同志社女子大学 NEWS RELEASE

2020 年 4 月 20 日

報道関係各位

同志社女子大学広報部広報室広報課

同志社女子大学史料センター叢書Ⅳ　刊行

『山本覚馬建白「管見」―釈文・訓み下し文・現代語訳・英語訳―』

この度、同志社女子大学では、「同志社女子大学史料センター叢書Ⅳ」として『山本覚馬建白「管見」―釈文・訓み下し文・現代語訳・英語訳―』を刊行いたしました。

マスコミ各社様には本学での取り組みについてご理解頂きたく、ご案内申しあげます。詳細は、別紙をご参照ください。

発行日　2020 年 3 月 31 日

編　集　大 島　中 正
ジュリエット・カーペンター
枝 澤　康 代
坂 本　清 音
杉 野　　徹

発　行　同志社女子大学史料センター

なお、本書は非売品となっておりますが、全国の主要な公立図書館、関連の大学、研究機関などに寄贈しております。

問合せ：同志社女子大学史料センター
電話：（075）251－4200　　e-mail:shiryo-i@dwc.doshisha.ac.jp

同志社女子大学広報部広報室広報課／広 報 課 長　渡邉　一郎
電　話 0774-65-8631
ＦＡＸ 0774-65-8632
e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp

○本リリースは、京大記者クラブ、京田辺・綴喜記者会の加盟社にお送りしています。

取材のお願い

同志社女子大学 NEWS RELEASE

【別紙】

山本覚馬は、1828 年に会津藩の武士として誕生し、明治期においては思想家・政治家として京都府の近代化に貢献した人物です。その実妹・八重が同志社の創設者である新島襄の妻であることは周知の事実でありましょう。

1875 年、山本覚馬は新島襄と結社して同志社を創業しました。京都府顧問であった山本覚馬がいなければ京都の地に同志社という学校ができなかったといって過言ではありません。

「管見」は、盲人となっていた覚馬が薩摩藩邸に幽閉されていたときに弟子のひとりに筆記させたもので、成立直後の明治新政府に提出されました。新生日本のグランドデザインを明示したものとして高い評価をうけています。三権分立、税制、遺産相続、女子教育等々二十数項目にわたって具体的にその知見・提言が述べられています。

この度公刊の本書は、「管見」（同志社大学図書館所蔵本）の全体にわたって翻刻・翻訳（訓み下しならびに現代語訳）をこころみ、さらに英語への翻訳を完成させたものです。英訳作業の中心メンバーであるジュリエット・カーペンター（本学名誉教授）は、司馬遼太郎の幕末・明治を題材にした歴史小説の英訳者でもあります。今回の英訳により覚馬は、いわば世界デビューをはたしたということになりましょう。

なお、「山本覚馬とその家族」「山本覚馬の出会った人々」「山本覚馬の足跡（京都市）」等のテーマを設けて８ページ分のグラビアを掲載しました。

本書によって山本覚馬と「管見」を、世代を超え言語を越えて多くの方々に知っていただければ幸いです。

同志社女子大学史料センター

同志社女子大学広報部広報室広報課／広 報 課 長　渡邉　一郎
電　話 0774-65-8631
ＦＡＸ 0774-65-8632
e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp

○本リリースは、京大記者クラブ、京田辺・綴喜記者会の加盟社にお送りしています。